

四つのテスト 現行はこれに照らしてから 1.真実かどうか 2.みんなに公平か 3.好意と友情を深めるか 4.みんなのためになるかどうか

◆司会 古里安幸SAA委員長 ◆四つのテスト 馬場隆寿さん ◆ご来訪ロータリアン

◆会長挨拶 中西祥之会長



皆さんこんにちは。先週少しお話ししましたが、先週の木曜日に、久田松さんと柳さんと3人で、大村の乳児院に行って、遊具の贈呈式を行ってきました。残念ながら、先方のご都合でテレビ取材ができませんでしたが、子ども達が元気いっぱい楽しく遊具で遊んでいる姿を見て、とても幸せな気持ちになりました。ただ、よく考えると、その遊具で楽しく遊んでいる子ども達は、親から虐待を受けたり、親が病気などで育てられない状況だったり、自分以外の大人たちの都合でその場にいる子ども達なので、それを考えると複雑な気持ちになりました。せめて遊具で遊んでいる一瞬だけでも、元気いっぱい楽しく遊んでくれたら良いかと、そんなことを考えていました。まだスペースはいっぱいありましたので、これから色々な遊具を寄贈することを考えてもいいのではないかなと思いました。さて、私は、昨日は夜の10時半過ぎに帰宅したのですが、帰宅してすぐにテレビをつけたところ、フジテレビの会見がまだやっていました。最初は、ニュースとして映像が流れているのかと思ったのですが、そうではなく、まだ会見が続いているとわかって、とても驚きました。午後4時から会見と聞いていたので、私が帰宅した時点ですでに6時間以上会見が続いていることとなります。朝のニュースによれば、結局、会見は午前2時半近くまで行われたということで、10時間30分近く続いたようです。こんなに長時間の記者会見は初めてではないかと思ったのですが、世界では、どうやらもっと長い会見もあったようです。それは、2019年10月に行われたウクライナのゼレンスキー大統領の就任会見で、12時間行われたとのこ

とです。記者会見では、真摯に誠実に受け答えをすることが一番大事だと思っているのですが、その意味では、フジテレビの最初の会見が真摯なものでも誠実なものでもなかったことが一番の問題だったと思われる。記者会見とは違いますが、マスコミからの取材で1度だけ苦い思い出があります。とある殺人事件を担当していた時、某テレビ局の記者の取材を受けて、まだ公表できないことをオフレコとして話したのですが「絶対にまだ報道しないでほしい」と話したにもかかわらず、その日のお昼のニュースで流れてしまい、とても残念な気持ちになったことを覚えています。真摯に受け答えすることが大事とはいえ、それがアダになることもあるのだなと実感した出来事でした。

◆幹事報告 久田松春樹幹事

■例会休会のお知らせ

長崎南RC 2/12(水)定款第7条第1節により休会

◆委員会報告

■地区補助金プロジェクト報告(柳奉仕担当理事)

1/23(木)大村の光と緑の園乳児院に鉄棒・遊具の贈呈式を行いました。会長のご挨拶にあります通りですが、ごどもたちが遊具で楽しそうに遊んでくれて嬉しく思いました。

■40周年実行委員会(柳記念事業部会長)

先ほど記念誌のことでお褒めのニコニコをしていただき、ありがとうございました。この記念誌は皆様の御協力のお陰で出来上がったと思っております。中でも一番嬉しかったのは、会員の皆さんのメッセージが全部揃うかという不安があったのですが、そこは先輩方のあの手この手があったからこそ全員のメッセージを載せることが出来ました。本当にありがとうございました。

■出席委員会(平山出席委員長)

4/22(火)の例会は全員出席例会とする予定です。皆様のスケジュール調整をよろしくお願いいたします。



◆期首会員数	35名	◆入会者	0名	◆退会者	0名	◆現在	35名
◆1/28例会出席	18名	◆免除者出席	7名	◆欠席	17名	◆出席率	56.25%

◆結婚・誕生・入会祝い 1/26～2/1

【誕生祝】野崎地平さん【入会祝】森 修司さん

■会員卓話

久田松春樹会員

「超貴重映像 元住民が語る
軍艦島への愛」



◆ニコニコ箱

■島田靖彦さん 柳記念誌編集長、立派な40周年記念誌発刊お疲れ様でした。素晴らしい出来栄えにニコニコします。

■水本由幸さん 40周年記念誌を拝見し、その出来栄えにビックリ。委員長の柳さんの労苦、忍ぶべし、忍ぶべし。

■島崎義忠さん 遅くなり恐縮でございますが、新年明けましておめでとうございます。この一年が西RC会員皆様にとりまして、素晴らしい年になりますよう、祈念申し上げます。

■三宅敏彦さん 壱岐高校、選抜21世紀枠、あっぱれ。甲子園で大暴れ、壱岐の島のパワーを見せてくれ。頑張れ壱岐高校。

■江上徹也さん 結婚記念日のお花、ありがとうございました。老夫婦なので何回目かは思い出せませんが、結婚式を現在の連れ合いと挙げて変更してない事は憶えておりました。

◆地区補助金プロジェクト報告

■プロジェクト名 社会福祉法人 光と緑の園乳児院への遊具の寄贈及び設置工事

■プロジェクトの概要 会員の社会活動の中で様々な事情により保護者と離れて暮らしているこどもたちの養育を行っている同院の活動を知り、支援活動を実施する事を決定

■補助金申請額 252,000円(支給145ドル 232,725円) クラブ資金 188,575円 総額421,300円

■地区補助金プロジェクトとは - 地域的に重要と考えられる人道的、教育的活動、また地域活性化をはかる事業

■プロジェクトの費用=クラブ40%+地区補助金60%の予算を組む。ただし地区補助金30万円が上限額。前年度のロータリー財団への寄付額ゼロのクラブは、事業申請ができない。この40%は、3年前に地区が年次基金に寄付した額(および恒久基金への寄付の投資収益)によって生まれたDDFを基に計算。クラブは補助金管理セミナー(D2740地区)への出席と、MOUの地区への提出が前提条件となっている。



ニコニコ箱	目標 1,200,000円	1/28	15,000円	累計	549,000円
ロータリー財団寄付	目標 1人150ドル/年間	1/28	7,000円	累計	125,025円
米山記念奨学寄付	目標 1人16,000円/年間	1/28	7,000円	累計	139,000円